

長野県産業振興機構広報誌

Escort

エスコート
September
2026

第8号

CONTENTS/目次

- P.1 ▶ 新理事長ごあいさつ
- P.2 ▶ きらりNICEな企業：有限会社カナモト食品
- P.4 ▶ TOPICS：事業者様の取組みをサポートした12事業の紹介
- P.8 ▶ コラム：「GX活動の支援」シリーズ4
- P.9 ▶ News: イベント・セミナーのご案内
- P.10 ▶ News: 事業紹介：航空・宇宙機器産業支援センター

県内企業に寄り添い、 地域産業の発展を一貫して支援します。

令和8年6月30日に、公益財団法人長野県産業振興機構の理事長に就任いたしました。

当機構は、県内企業の皆様が取り組む事業の企画・開発段階から販路開拓までと、それ以降の再生や事業承継等の様々なステージで一貫支援を行う産業支援機関として令和4年4月に設立し、今年で5年目を迎えました。

この間、コーディネーターやマネージャーが県内企業の伴走支援を行うとともに、医療機器産業、航空・宇宙機器産業、フードテック、ゼロカーボンなど新産業の創出につながる分野の支援にも取り組んでまいりました。

引き続き、国や県、金融機関、保証協会、商工団体など関係機関の皆様との連携を強化し、職員が現場に積極的に出かけて、皆様の課題や問題点を一緒に考え、解決につなげてまいります。

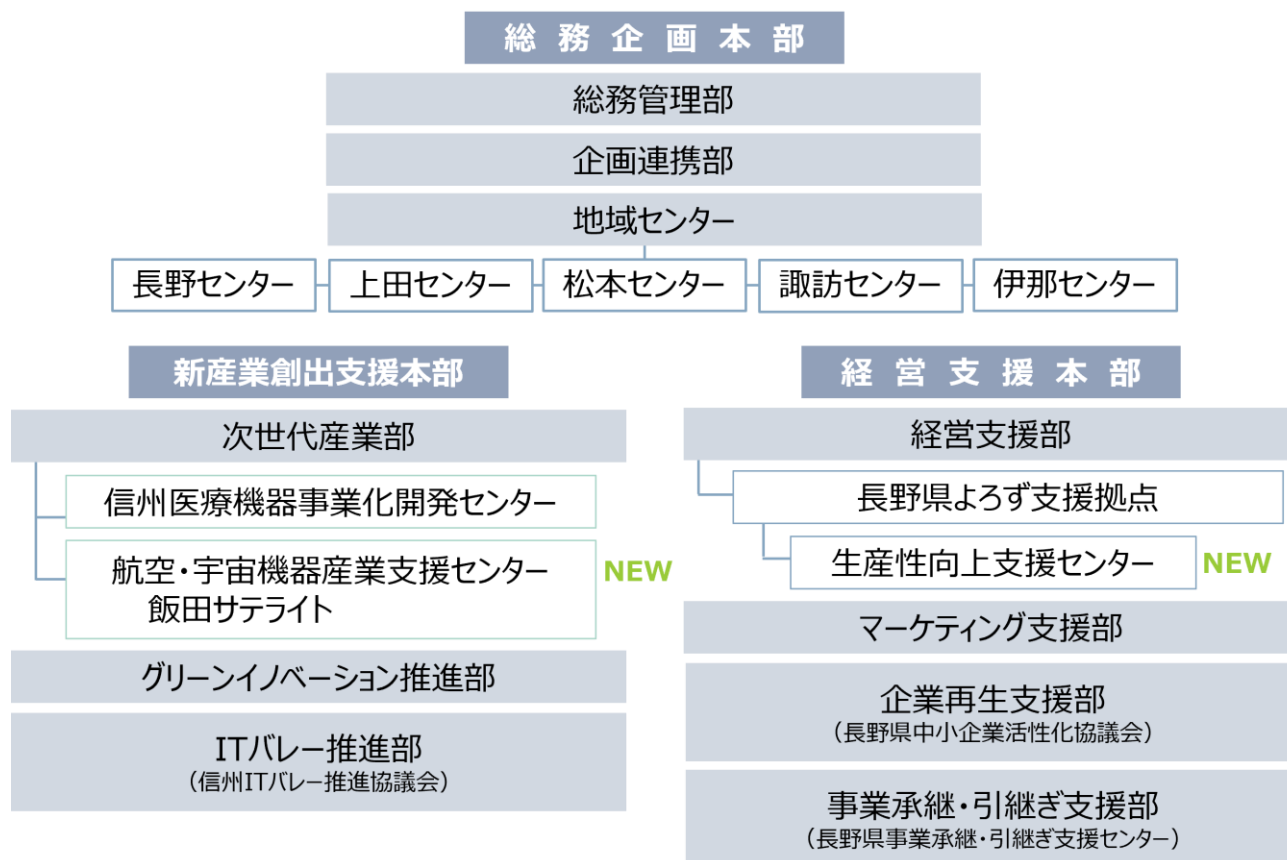
県内5か所の地域センターを含めて当機構に気兼ねなくご相談いただき、各種支援事業をご活用いただければ幸いに存じます。

常に信頼される産業支援機関であり続けることを目指し、微力ながら県内産業の発展のため専心努力いたす所存ですので、格別のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事長
金子 元昭

組織一覧



本物の味をそのまま、国内でも海外でも。

有限会社カナモト食品

業 種：キムチ製造、販売、日用雑貨、食品等の小売業

設 立：1974年（昭和49年）10月31日

資本金：300万円

所在地：東御市本海野1524

代表取締役社長：金本 英美氏

従業員：47名

<https://www.amenities.co.jp/business/food>



金本社長から取り組みについてお話を伺いました。

本格派キムチで貫く4つのこだわり

有限会社カナモト食品（金本英美代表取締役／東御市本海野）は、本格派キムチの製造、販売を主な事業とする。

他社製キムチと差別化されているポイントは、大きく4つある。素材の旨みを最大限に引き出す味作り、自社農場栽培、手作業、自然発酵、いずれも譲れない同社のこだわりだ。

まず、化学調味料、pH調整剤、人工着色料、増粘剤は一切使用していない。余計なものを加えない、自然本来の風味を追求しているからだ。市販のキムチの多くは、賞味期限を伸ばすため、あるいは発色をよくするため、そして製造の手間やコストを抑えるためにこれらの添加物を用いるが、同社では厳選した素材のみを用い、手間ひまをかけることで消費者に安全・安心を提供する。

厳選材料の中でも要となる白菜は、グループ企業かなもと青果株式会社の自社農場で栽培している。かなもと青果は標高約1,000メートルの佐久市望月高原長者原に13万5千坪の圃場を有する。農薬の使用回数を減らし、年2回収穫できるみずみずしい白菜を用い、冬期は貯蔵にも工夫を凝らして、品質の一貫性を保っている。

手間ひまが約束するのは、シャキシャキとした食感である。塩水を使って塩漬け工程を効率化するメーカーが多いなか、同社では天然塩を手もみで漬け込む過程を疎かにせず、この作業を任せられる社員の育成にも力を入れる。そして、本格派と謳うとおり、その味わいは化学調味料等に頼らない乳酸発酵によるものだ。



自社圃場で栽培する白菜

フローズン商品がもたらしたチャンス

同社が白菜キムチを製造・販売するに際し、金本社長が大切にしていたのが、これら4つのこだわりに加え、本物の美味しいキムチを家族全員で味わってもらったことだった。そこで、タレに使う唐辛子は辛味が強くない「ハンバンドウ」を使った。自然でまろやかな甘味には「麦芽水あめ」も一役買っている。自信作のキムチは、長野県の手廻り大手スーパーマーケットチェーンでプライベートブランド化され、県内での認知度は少しずつ上がっていった。しかし、県外での売上は思わしくなかった。なぜか。

「物流網が整っていなかった」。バイヤーに認知してもらうためにPRは欠かせないが、物が届けられなければPRの意味はない。1年を費やして物流ネットワークを構築し、長野県産業振興機構（NICE）主催の消費財国内販路開拓支援事業を活用し展示会に参加した。以降、同社のこだわりキムチは、じわじわと全国のファンを獲得していく。



冷凍こだわりキムチ

同社が次に手を打ったのが、将来の冷凍食品需要拡大を見越したフローズン商品の開発だった。無添加であることは多くの支持を得たが、そのこだわりゆえに同社のキムチの賞味期限は製造から14日と短い。ただし、普通に冷凍したのでは、自慢の食感が損なわれてしまう。試行錯誤の結果たどり着いたのが、超冷凍技術だ。この高い冷凍技術については企業秘密である。これにベストな解凍方法を組み合わせることで念願のフローズンキムチは完成した。実は、このフローズン商品が同社に新たなビジネスチャンスをもたらすことになった。海外展開である。

フットワークの軽さと本気度が勝負を分ける

はじめに掴んだチャンスは、台湾台中市に展開する日本食品専門の高級スーパー裕毛屋との取引だった。NICE主催2024年6月の[台湾裕毛屋長野フェア商談会](#)に参加したところ、裕毛屋の謝明達社長にフローズンキムチのおいしさ、流通上のメリットを評価された。12月には裕毛屋の1店舗で定番商品5アイテムのプロモーションを実施、現地顧客の反応にも背中を押された。すぐさま裕毛屋での販売が始まり、翌2025年には前年比150%超の売上を計上した。

大きな成果を得たのは、商品力もさることながら、同社古川主査ら営業チームが取引先の声に耳を傾ける姿勢によるところが大きい。裕毛屋の謝社長からパッケージラベルの記載事項についてアドバイスを受ければ、無添加であることの明示、冷凍保存と冷蔵保存で異なる賞味期限の併記、QRコードの採用など、要望には即座に対応した。フットワークの軽快さが勝負を分けると嗅ぎ取ったからだ。

台湾では[FOOD TAIPEI 2026展示会](#)の長野県ブースにも出展、アメリカのロサンゼルス、ハワイでもNICEの支援を得ながら長野フェアに参加し好感触を得た。さらに、JETROなど他の支援機関も活用することで販路開拓に努めた。



FOOD TAIPEI 2026 長野県ブース

裕毛屋との取引で培ったノウハウの活用とともに、こうした機会大切にしていたのは、現場での来場者対応の際こちらが見せる本気度だ。まず、事前の情報収集を怠らない。また、商品の魅力とともに、キムチを使ったレシピ提案など顧客が求めるニーズを盛り込んだ現地語のPOPは念入りに準備する。

工夫を凝らしたPOPの活用は、実際に取引が始まってからも続く。定番導入、定着化のためには、消費者の購買動機を喚起し続ける必要があるからだ。だから、バイヤーと売り場担当とのコミュニケーションを密にし、自社商品の訴求力を維持する。



現地語のPOP

3年後の海外売上目標は年間5,000万円

「NICEさんの商談会に参加したことで、海外での取引先を得たばかりでなく、輸出商社とのつながりができたことが財産になった。今後の輸出拡大のポイントは、こうした「商流」をいくつかつなぐことができるか。」同社は2026年を海外ビジネスの下地づくりの年と位置付け、2027年は1,000万円を目指す。そして、3年後の目標は5,000万円に置く。

目標達成のために同社は4つの戦略を掲げた。まず、フローズンのさらなる商品開発だ。

多様な小売業態にまんべんなく対応できる規格、形態、デザインの商品をラインナップし、ブランディング化を図る。たとえば、海外でも店舗数の多いコンビニエンスストア向け商品の開発は大きなテーマである。

2つ目以降はいずれも前述の「商流」の枝を増やすこと、つまり販路開拓に関わるものである。第一にNICEやJETRO、長野県等の支援機関の活用、第二に国内外展示会への参加、第三に輸出商社への積極的アプローチと商談の機会にそれぞれ注力する。

特にNICEへの期待は大きい。「NICEさんには、今後も実績のあるバイヤーさんと接点の持てる機会を提供して欲しいですし、長野県の名を冠したプロモーションなどを通じて、国内外の輸出業者、輸入業者と接点を持つ機会もつくっていただきたい。いろいろ相談に乗ってください」。



ハワイのスーパーマーケットにおける長野フェア

活用した支援制度等

- [消費財国内販路開拓支援事業](#)
- [消費財海外販路開拓支援事業](#)

◆お問い合わせ

マーケティング支援部

TEL : 026-227-5013 FAX : 026-228-2867

E-mail : hanro [at] nice-o.or.jp

1| 第14回信州ベンチャーサミットを開催！ 経営支援部

長野県、トーマツ、八十二長野銀行、21世紀ニュービジネス協議会、当機構の主催により、起業家の事業発表を通じ、支援者や協業パートナーとの新たなつながりを創出することを目的に、「第14回信州ベンチャーサミット」を開催しました。当日は9名の起業家によるピッチのほか、パネルディスカッション、審査・表彰、交流会を実施し、会場には78名が来場、オンライン配信は411回再生されました。

審査の結果、株式会社Goat Plusが「ソーシャル・イノベーション賞」を受賞しました。同社は令和6年度ソーシャル・ビジネス創業支援金の採択者でもあり、デジタル技術を活用した鳥獣被害対策等の取組が評価されました。

今後も、起業家が競争戦略を再考し、さらなる成長を実現するためのきっかけに出会える「場」として、本サミットを提供していきます。



サミットの様子

日時 令和8年1月14日（水）

会場 Tokyo Innovation Base（東京都千代田区）

詳細 <https://tohatsu.smartseminar.jp/public/seminar/view/62554#overview>

お問い合わせ TEL：026-227-5028 FAX：026-227-6086 E-mail：keieishien [at] nice-o.or.jp



2| サーキュラーエコノミーの最前線を見学 グリーンイノベーション推進部

CE（サーキュラーエコノミー）による新材料や新製品の開発を推進する「CEイノベーション研究会」の第1回目を開催しました。今回の研究会では、先進的な研究シーズや試験機器を有する、産業技術総合研究所中部センター及び国内の再生プラスチック先進企業である、いその株式会社へ訪問し、見学・研修を行いました。愛知県という遠方での見学会にもかかわらず、定員上限の20名が参加しました。

参加者からは、「関連装置の見学ができて大変勉強になった」「一気通貫の重要性と取組に感銘を受けた」「関連技術やリサイクル材調達に向けた社外へのアプローチなど勉強になった」などの声が寄せられ、有意義な学びの機会となりました。

今後も本研究会を通じて、CEの実装に向けた企画・支援を行っていきます。



研究会の様子

日時 令和8年5月20日（火）、21日（水）

会場 産業技術総合研究所中部センター（愛知県名古屋市）
いその株式会社（愛知県稲沢市）

詳細 <https://www.nice-o.or.jp/wp-content/uploads/2026/08/0520-21.pdf>

お問い合わせ TEL：026-217-1634 FAX：026-226-8838 E-mail：green-innv [at] nice-o.or.jp



3| 過去最多379名のバイヤーが「長野県産品商談会」に来場！ マーケティング支援部

長野県と当機構は、県内食品加工事業者等の販路拡大を目的に長野市にて「長野県産品商談会」を開催しました。当日は県内から食品加工事業者など108社が出展し、共催のNEXCO中日本・NEXCO東日本をはじめ、高速道路サービスエリア・パーキングエリアや県内スーパー等のバイヤー379名が来場し、会場内では終始熱心な商談が展開されました。

開催後のアンケート調査では出展者・バイヤーともに非常に高い満足度となり、「新たな販路開拓に繋がった」「見積依頼やサンプル送付など具体的な成果となった」「新しく取り扱えそうな商品が多くあった」等の声が寄せられました。

今後、令和9年1月にも茅野市において同様の長野県産品商談会を開催するなど、継続的な伴走支援で県内事業者の販路開拓をバックアップしていきます。



長野県産品商談会（長野会場）の様子

日時 令和8年5月28日（木）

会場 シャトレゼホテル長野（長野市）

詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-70958/>

お問い合わせ TEL：026-227-5013 FAX：026-228-2867 E-mail：hanro [at] nice-o.or.jp

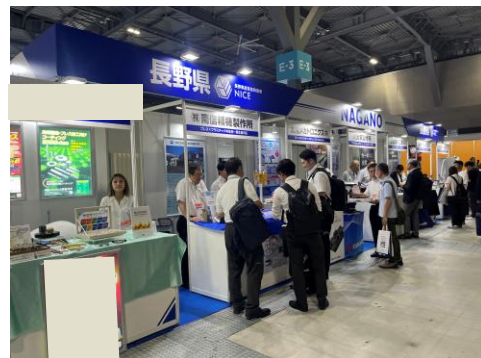


4| 人とくるまのテクノロジー展に県内企業15社が出展 マーケティング支援部

自動車産業に関する国内最大級の技術展示会・セミナーである「人とくるまのテクノロジー展 2026 NAGOYA」に当機構として初参加し、長野県ブースに県内企業15社が出展しました。出展企業からは「多岐にわたる自動車関連分野の担当者と知り合う良い機会となった」「普段の展示会では接点を持つことが難しい、重要な役職の方と面談することができた」といった声が寄せられました。また、EV、SDVをはじめ、自動車産業を取り巻く技術革新は非常に速いスピードで進んでおり、その最新動向を把握する貴重な機会にもなりました。

今回の出展を通じ、県内企業においても自動車産業の技術革新への関心は高く、最新動向を積極的に情報収集しながら新たな販路開拓を目指す姿が見られました。

当機構としても「100年に一度」ともいわれる自動車産業の大変革期において、県内企業が変化を的確に捉え、更なる成長に繋がれるよう支援していきます。



長野県ブースの様子

日 時 令和8年6月17日（水）～19日（金）**会 場** Aichi Sky Expo(愛知県常滑市)**詳 細** <https://www.nice-o.or.jp/info/info-72209/>**お問い合わせ** TEL : 026-227-5013 FAX : 026-228-2867 E-mail : matching[at] nice-o.or.jp**5| 令和8年度若手技術者養成講座「機械加工法コース」を開催** 上田センター

長野高専とさかきテクノセンターの共催により、若手技術者養成講座「加工法コース」を開催しました。本講座は加工初心者を対象に、長野高専の講師より機械加工の基礎を学ぶ内容で、会場とオンラインをそれぞれ2回ずつ実施しました。

参加者は加工技術者だけでなく、購買・設計・品質保証など普段は加工に直接関わらない部署の方々にも広がり、23名が受講しました。長野高専講師による丁寧で分かりやすい指導により、加工の基礎をしっかりと学ぶ機会となりました。

受講者からは、「基礎的なことを丁寧に教えてくださったため、分かりやすく受講できた」、「普段は図面を描いて加工を依頼する立場だが、加工現場の考え方や加工機の特徴を知ることができ、今後の業務に活かしたい」といった前向きな感想が寄せられ、参加者の理解促進と視野拡大につながる講座となりました。



測定実習の様子

日 時 令和8年6月19日（金）～7月10日（金）**会 場** さかきテクノセンター(埴科郡坂城町)/Zoom**詳 細** <https://www.nice-o.or.jp/info/info-72932/>**お問い合わせ** TEL : 0268-23-6788 FAX : 0268-23-6673 E-mail : nice-ueda[at] nice-o.or.jp**6| KZCP 第8回定例会「脱炭素先進施設 見学会」を開催** 伊那センター

リサイクルシステム研究会と産官が共同運営する地域のゼロカーボン活動基盤「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム（KZCP）」は、「脱炭素先進施設見学会」を開催しました。

今回は、脱炭素化の有力な選択肢として注目される地中熱ヒートポンプに焦点を当て、朝日村役場と株式会社日本ピスコ岡谷本社工場を訪問しました。見学では、導入の背景や運用状況、技術の原理、施工事例、CO₂削減効果などについて詳しく学ぶことができました。

当日は企業・行政関係者など30名が参加し、参加者からは、「CO₂削減効果について理解が深まった」、「投資回収期間が長いので、導入には経営層や担当者の強い意志が必要だと感じた」といった声が寄せられ、各団体における再生可能エネルギー導入の検討に役立つ機会となりました。



見学会の様子

日 時 令和8年6月23日（火）**会 場** 朝日村役場（東筑摩郡朝日村）
株式会社 日本ピスコ 本社工場（岡谷市）**お問い合わせ** TEL : 0265-76 5668 FAX : 0265-73-9023 E-mail : nice-ina[at] nice-o.or.jp

7| FOOD TAIPEI 2026 長野県企業10社出展！ マーケティング支援部

FOOD TAIPEIは、台湾貿易センター（TAITRA）が主催するアジア最大級の総合食品専門見本市であり、食品以外にも包装や加工技術などの関連展示会が開催されています。長野県ブースは2019年に初めて出展し、その後コロナ禍での中断を経て2023年に再開し今回は5回目の出展となりました。

出展者は主に現地台湾における小売店・飲食店・卸商社・輸入商社に商品をPRし商談が行われました。

1回の出展で現地小売店等へ流通させることは困難であり、継続した支援により、「現地の商習慣を理解し輸入商社を通じての商流を組むことができた」という報告をいただいているため、繰り返しの出展を推奨し成功事例等の情報を提供しながら出展支援を行っていきます。



長野県ブースでの各社商談の様子

日 時 令和8年6月24日（水）～27日（土）**会 場**台湾台北南港展覽館1号館・2号館及び
台北ワールドトレードセンターホール1**詳 細** <https://www.nice-o.or.jp/info/info-70943/>**お問い合わせ** TEL : 026-227-5013 FAX : 026-228-2867 E-mail : hanro [at] nice-o.or.jp**8| EV技術への関心高まる！過去最多の90名が参加 企画連携部**

県内企業のEV市場への新規参入を支援する「次世代モビリティ関連技術講座」の第1回講座を開催しました。当日は過去最多となる90名（会場＋オンライン）が参加し、会場では実物の分解部品を前に活発な質問が飛び交いました。

今回の講座では、EV駆動部「パワーユニット」をテーマに、(株)三幸コーポレーション次世代自動車戦略研究所の方々から電動化の動向と分解部品について解説していただきました。併せて会場に並び、TOYOTA（bZ4X・bZ3X）、VW（e-GOLF）、長城汽車（ORA GOODCAT）の実物部品で日・欧・中の構造比較を行いました。参加者からは「説明いただいた後に分解品を見学する事でより理解が深まった」等の声が寄せられました。本講座は10月に第2回目を開催予定で、今後も現場に役立つ講座を通じて、県内自動車産業の発展を後押ししていきます。



講座の様子

日 時 令和8年7月7日（火）**会 場**

テクノプラザおかや(岡谷市)/Zoom

詳 細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-73427/>**お問い合わせ** TEL : 026-227-5803 FAX : 026-226-8838 E-mail : automo [at] nice-o.or.jp**9| 宇宙機器産業に係る品質セミナーを開催 航空・宇宙機器産業支援センター**

宇宙機器産業への参入にあたり、企業には、「品質保証の要求が厳しく対応が難しい」、「何をどこまでやれば良いかわからない」、「信頼性重視の品質管理体制の構築が難しい」等、品質保証に係る課題が多くあり、これらの課題を解決すべく、講師に名古屋品証研(株)の大脇 聡氏をお招きして、セミナーを開催しました。

セミナーには、宇宙機器産業へ参入している企業やこれから参入を希望する企業を中心に37名の参加がありました。

大脇氏からは、オールスペース、ニュースペースの国内企業の取組みや新規参入にあたっての品質マネジメントシステム要求等について解説がありました。アンケートから、参入にあたっては、コンポーネントメーカー等とのつながりを期待する声が多く、商談機会を作るなど、引き続き、支援を行っていきます。



セミナーの様子

日 時 令和8年7月15日（水）**会 場**

テクノプラザおかや（岡谷市）

詳 細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-73774/>**お問い合わせ** TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838 E-mail : aerospace [at] nice-o.or.jp

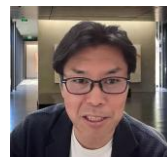
10| 「デザイン思考」で新たな価値を生み出す 松本センター

松本センターでは、「デザイン思考」を活用した新規事業・価値創造の手法を学ぶセミナーを開催しました。「デザイン思考」とは、顧客・ユーザーの視点に立ち、本質的な課題を発見し、試作と検証を繰り返しながら新たな価値を生み出す考え方です。

当セミナーでは、顧客への共感を起点に課題を捉え直す手法について、ヒューストン空港の手荷物受取所で「待ち時間」ではなく「待たされるストレス」に着目したケースや、米国有数のワイン産地ナパバレーで、ワインそのものだけでなく、景観や食事・物語などを含む「体験」を「価値」として提供する取組を題材に学びました。

また、顧客・社会・技術・自社の強みなどを元に、新たな価値の種を見つける視点や、実践に活用できるフレームワークが示されました。受講者それぞれの事業に合わせ、新たな価値を生み出していくためのヒントを得る機会となりました。

「デザイン思考セミナー」



デザイン思考の5段階プロセスを示したセミナー
講師の上野敏良氏



日時 令和8年7月16日（木）

会場 Zoom

詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-73452/>

お問い合わせ TEL : 0263-40-1780 FAX : 0263-47-3380 E-mail : nice-matsumoto [at] nice-o.or.jp

11| 医療機器開発・海外展開セミナーを開催 信州医療機器事業化開発センター

県内における医療機器スタートアップの創出と、県内医療機器関連企業の海外展開促進を目的に全4回シリーズでセミナーを実施しています。講師は、スタンフォード大学のSenior Researcherで信州医療機器事業化開発センター名誉センター長の池野文昭氏です。

1回目は、「医療機器スタートアップの始め方～臨床課題から事業仮説をつくる～」というテーマで、ステークホルダーが多い医療機器の特性やスタートアップが抱えるリスク等について解説していただきました。参加者からは、アメリカのスタートアップがおかれている環境やアメリカ市場におけるマーケティング手法について質問がありました。

今回は、11月20日に開催予定です。セミナーの内容にご興味はある方は、ぜひご参加ください。



セミナーの様子

日時 令和8年7月31日（金）

会場 Mウイング（松本市）

詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-75686/>

お問い合わせ TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838 E-mail : med [at] nice-o.or.jp



12| 食品製造業における生産性向上に関する講演会を開催 次世代産業部

どんな業界においても、人材不足は深刻ですが、食品製造業も例外ではなく、人材不足による、競争力の低下が顕在化しています。この課題を解決するためには、生産性向上等により業務を効率化し、限られた人員で大きな成果を生み出すことが必要です。「信州発酵フードテック研究会」及び「信州食品資源有効活用研究会」では、食品製造業におけるDX、AI活用を含めた生産性向上に関する講演会を実施しました。

講演では、長野県よろず支援拠点生産性向上支援センターが、DX、AIの支援事例のほか、実際に企業支援を行っているITベンダー3社が各社のツール等の紹介を行いました。参加者からは、「自社の取組の参考にしたい」といった感想が寄せられ、生産性向上に取り組む足がかりとすることができました。



講演会の様子

日時 令和8年8月19日（水）

会場 ホテル信濃路（長野市）

詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-75018/>

お問い合わせ TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838 E-mail : shinsangyo [at] nice-o.or.jp



GX活動の支援

グリーントランスフォーメーション

シリーズ4

グリーンイノベーション推進部

テクノコーディネーター

常田 聡

県内企業の脱炭素化やグリーンイノベーションの創出に向けた活動を支援します。

仮に世界中の人々が「今の日本」と同じ生活をした場合、地球2.9個分の資源が必要になると言われています。これは、地球が1年間で再生・回復できる資源量の約2.9倍を消費していることを意味します。このペースの消費が続けば、今後20年ほどで自然環境に致命的かつ不可逆なダメージを与えてしまうと懸念されています。

こうした事態を防ぎ、持続可能な社会を実現するためには、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」の社会構造から脱却しなければなりません。エネルギーの安定供給、経済成長、そして温室効果ガス排出削減の同時実現を前提とした経済社会システムへの移行が急務であり、その切り札となるのがGX（グリーントランスフォーメーション）の推進です。そして、このGXを力強く推進していくための鍵こそが、本コラムでご紹介する「資源循環」と「環境評価」を両輪とした取組です。

■「資源循環」と「環境評価」の事業化モデルの検証

企業がサーキュラーエコノミー（CE）を推進する上では、「経済性の不透明さ」や「事業連携の難しさ」といった課題が大きな壁となります。こうした課題を可視化して解決を図り、CEの事業化モデルを検証することを目的に、関連企業とNICE、長野県工業技術総合センター、（一社）サステナブル経営推進機構（SuMPO）が連携し、脱炭素化の中核を担う再生資源の一つである「再生プラスチック」を対象とした取組を開始しました。

図1に示すプラスチック製品の循環サイクルに基づき、以下の3つの要素について検証を行います。

- ・資源循環性：資源の循環率および品質の劣化状態
- ・経済性：事業としての経済的妥当性（コスト・収益性）
- ・環境性：CO2排出量の削減効果

これらの検証結果を活用し、県内における再生材料の生産基盤を整え、環境負荷の低減と地域産業の振興を両立させることを目指します。

■取組例の紹介

小諸市にある株式会社キザキは、NICE、長野県工業技術総合センター、SuMPOの支援を受け、2023年からウォーキングポール製造時のCO2排出量の算定・削減に着手しました。その過程で、電力消費に加えアルミニウム・プラスチックなどの原材料に由来する排出量の割合が高いことが課題として浮き彫りになりました。

そこで同社は今年、課題解決に向けた新たな一歩として、株式会社アサマリリゾートおよび株式会社UACJとの3社連携によるプロジェクト「Re-ALoop Action（リアループアクション）」を立ち上げました（図2）。本プロジェクトでは、使用済みスキーポールを回収し、再び新しいスキーポールへと再生する「水平リサイクル」を実施します。これにより、原材料由来のCO2排出量を約97%削減することを目指しています。（参照：<https://www.uacj.co.jp/release/20251216.html>）

■おわりに

自社の環境影響を正しく「評価」して課題を明確にし、それに基づき「資源循環」をビジネスモデルへと昇華させること。これこそが、これからの時代に求められる持続可能な成長への確かな道筋です。NICEでは、各種研究会やカーボン排出量の削減支援事業などを通じて、将来を見据えた企業の挑戦をこれからも強力に支援してまいります。

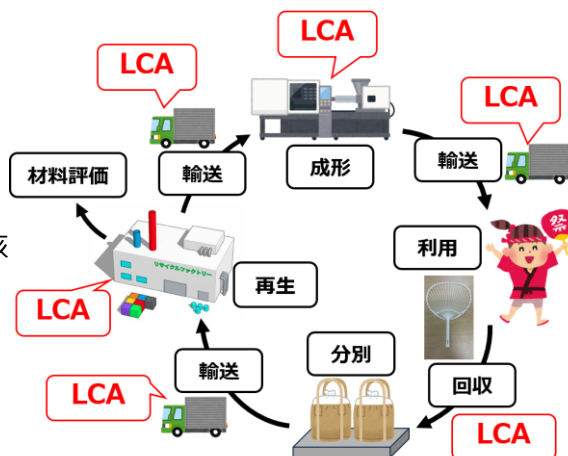


図1 CE事業化モデル

LCA（ライフサイクルアセスメント）：製品やサービスの原材料調達から、製造、流通、使用、廃棄・リサイクルに至るライフサイクル全体の環境負荷を定量的に評価する手法



図2 Re-ALoop Action

Go Zero Carbon By 2050

県内製造業による関連技術の開発や製品のライフサイクルによるカーボン排出量の可視化・削減等を支援します

グリーンイノベーション推進部

お問合せ先

TEL : 026-217-1634 E-mail : green-innv [at] nice-o.or.jp

◆当機構のGX活動の情報はこちらから

<https://www.nice-o.or.jp/support/support-31688/>



イベント・セミナーピックアップ

■「第2回次世代モビリティ関連技術講座」参加者募集

電動化の動向と熱マネジメントシステム部品の特徴を学び、EV関連分野への参入につなげる技術講座を開催します。

- ・開催日 令和8年10月6日（火）
- ・会場 テクノプラザおかや（岡谷市）
- ・定員 会場：50名+オンライン：制限なし
- ・締切 令和8年9月29日（火）
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-75834/>

■「デジタルリテラシー向上研修」（第4回）参加者募集

成果に直結する「デジタルマインド」組織内醸成「人が足りない」を解消するこれからの企業の生存戦略を学びます。

- ・開催日 令和8年10月27日（火）
- ・会場 県立長野図書館（長野市）
- ・定員 30名程度
- ・締切 令和8年10月22日（木）
- ・詳細 9月下旬にHPにて募集開始

■「航空機器産業 品質保証まるわかりセミナー」参加者募集

航空宇宙産業の品質保証実務について、ワークショップ形式で模擬体験しながら習得します。

- ・開催日 令和8年11月5日（木）、6日（金）
- ・会場 テクノプラザおかや（岡谷市）
- ・締切 令和8年10月下旬予定
- ・詳細 10月上旬にHPにて募集開始

■「産学官交流会in松本2026」参加者募集

自社のコア技術を活用して新たな市場開拓に挑戦しませんか。

- ・開催日 令和8年11月19日（木）
- ・会場 Mウィング（松本市）+オンライン
- ・定員 会場90名 + オンライン100名
- ・締切 11月初旬
- ・詳細 9月下旬にHPにて募集開始

■「善光寺バレエ研究成果報告会」参加者募集

長野高専による研究成果発表と信州大学の宮尾秀俊准教授からMR/VRに関してご講演いただきます。

- ・開催日 令和8年12月16日（水）
- ・会場 長野高専B203ゼミ室（長野市）
- ・定員 会場50名程度
- ・締切 令和8年12月11日（金）
- ・詳細 10月下旬にHPにて募集開始

■「第2回小規模水力発電研究会」参加者募集

第2回研究会では、信州大学飯尾研究室の見学、及び企業等の個別事例を交えたディスカッションを行います。

- ・開催日 令和8年10月9日（金）
- ・会場 信州大学工学部（長野市）
- ・定員 50名
- ・締切 令和8年9月下旬
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-76101/>

■「EV分解展示実地研修会」参加者募集

電動化やCASEの動向、EVに使用される部品への理解を深めるための実地研修会を開催します。

- ・開催日 令和8年10月28日（水）
- ・会場 三洋貿易株式会社 瑞浪展示場（岐阜県瑞浪市）
- ・締切 令和8年10月21日（水）
- ・定員 午前の部：40名 午後の部：40名
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-75837/>

■「グローバルマーケティングセミナー」参加者募集

世界の半導体及び半導体製造装置市場の最新動向とAI・データセンターの展望をテーマにセミナーを開催します。

- ・開催日 令和8年11月10日（火）
- ・会場 テクノプラザおかや（岡谷市）+オンライン
- ・定員 会場40名+オンライン60名
- ・詳細 10月上旬にHPにて募集開始

■「第2回NICEイノベーションセミナー」参加者募集

「工作機械のロボット化・自動化」をテーマにセミナーを開催します。

- ・開催日 令和8年11月20日（金）
- ・会場 テクノプラザおかや（岡谷市）+オンライン
- ・定員 会場30名 + オンライン100名
- ・締切 11月初旬予定
- ・詳細 10月初旬にHPにて募集開始

■「2027国際宇宙産業展ISIEX」出展者募集

日本最大級の宇宙産業専門展示会に長野県ブースを出展し、国内外の宇宙機器関連産業等にPRします。

- ・開催日 令和9年3月17日（水）～3月19日（金）
- ・会場 東京ビッグサイト（東京都江東区）
- ・定員 6社程度
- ・締切 令和8年10月下旬予定
- ・詳細 10月初旬にHPにて募集開始

航空・宇宙機器産業支援センター

自社の技術を、空の領域で活かしてみませんか
航空・宇宙機器産業への参入を私たちが支援します



国が掲げる17の戦略分野の一つに「航空・宇宙」が選定され、今後、大規模な政策支援が見込まれます。

令和8年度から宇宙機器分野へ支援対象を拡大！

これまでの航空機分野に加え、新たに宇宙機器産業への参入支援をスタートしました。高まる宇宙需要に向けたサプライチェーン参入や、新技術の開発を後押しします。

宇宙機器分野で私たちが提供する4つのサポート

①セミナー開催

参加費無料で、最新動向や品質保証等の基礎知識が学べるセミナーを定期開催しています

②補助金支援

宇宙ビジネスへの挑戦に係る人材育成、展示会視察等にかかる費用を経済面からサポートします

③マッチング支援

参加費無料で、メーカーとの出会いの場を提供し、新たな協業や受注を後押しします

④展示会出展支援

長野県ブースへの共同出展により、低価格で自社技術を広くPRできます

★航空機器分野の補助金やセミナー等の支援メニューもあります。お気軽にお問い合わせください。

NAGANO航空宇宙産業クラスターネット

航空機器、宇宙機器関係の補助金、セミナー等の情報を随時発信
会員は100者以上！入会金、年会費は無料です。

会員一覧、入会は[こちら](#) →



コーディネーター＆お問い合わせ

【航空機器 担当コーディネーター】原田、中田
【宇宙機器 担当コーディネーター】沼里
【連絡先】航空・宇宙機器産業支援センター
TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838
E-mail : aerospace [at] nice-o.or.jp

お気軽にご相談ください！
私たちがお手伝いします。





長野県産業振興機構
NICE

公益財団法人長野県産業振興機構

Nagano Industrial and Commercial Encouragement Organization

設立／2022年4月1日(沿革:https://www.nice-o.or.jp/about_intro/)
(公財)長野県テクノ財団と(公財)長野県中小企業振興センターが合併

目的／技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進するとともに、県内企業の経営革新及び経営基盤の強化等を支援し、県内産業の発展と地域経済の活性化に寄与する。

〒380-0928 長野市若里1-18-1 長野県工業技術総合センター3F
TEL.026-226-8101 FAX.026-226-8838 E-mail:nice@nice-o.or.jp
URL:<https://www.nice-o.or.jp/>

業務時間／午前8時30分から午後5時15分まで
土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日)を除く。



- JR 長野駅東口より徒歩 25 分、車で 10 分
- JR 長野駅東口より長電バス(日赤線)北市バス停より徒歩 10 分
- JR 長野駅善光寺口よりアルピコ交通バス(日赤、松代方面等) 荒木入口バス停より徒歩 7 分

ご相談窓口&お問い合わせ先

総務企画本部

総務管理部 TEL.026-226-8101
企画連携部 TEL.026-227-5803

新産業創出支援本部

次世代産業部 TEL.026-217-1634
・信州医療機器事業化開発センター
・航空・宇宙機器産業支援センター
飯田サテライト TEL.0265-49-8047
グリーンイノベーション推進部 TEL.026-217-1634
ITバレー推進部 TEL.026-217-1635

経営支援本部

経営支援部 TEL.026-227-5028
長野県よろず支援拠点 TEL.026-227-5875
・生産性向上支援センター
マーケティング支援部 TEL.026-227-5013
長野県中小企業活性化協議会 TEL.026-227-6235
(企業再生支援部)
長野県事業承継・引継ぎ支援センター TEL.026-219-3825
(事業承継・引継ぎ支援部)

地域センター

長野センター (NICE長野)

〒380-0928
長野市若里1-18-1
長野県工業技術総合センター3F
TEL.026-225-6650
FAX.026-225-6711

- JR長野駅東口より徒歩25分、車で10分
- JR長野駅東口より長野電鉄バス日赤ゆき、北市または信大工学部前バス停より徒歩10分



諏訪センター (NICE諏訪)

〒392-8601
諏訪市上川1-1644-10
諏訪合同庁舎内
TEL.0266-53-6000
(内線2663、2664)
FAX.0266-57-0281

- JR上諏訪駅より徒歩25分、車で10分
- 中央自動車道諏訪ICより車で10分



上田センター (NICE上田)

〒386-8555
上田市材木町1-2-6
上田合同庁舎内
TEL.0268-23-6788
FAX.0268-23-6673

- しなの鉄道上田駅東口より徒歩20分、車で5分
- 上信越自動車道上田ICより車で10分



伊那センター (NICE伊那)

〒396-0041
伊那市西箕輪2415-6
伊那技術形成センター内
TEL.0265-76-5668
FAX.0265-73-9023

- 伊那インター工業団地北端
- 中央自動車道伊那ICより車で8分
- JR伊那市駅より車で15分



松本センター (NICE松本)

〒390-0852
松本市大字島立1020
松本合同庁舎内
TEL.0263-40-1780
FAX.0263-47-3380

- JR松本駅より徒歩30分、車で10分
- 長野自動車道松本ICより車で2分

